

研究名： 次世代シーケンサーを用いた胆道閉鎖症の病因論としての Maternal Microchimerism の検証

1. 研究の目的

胆道閉鎖症 (BA) はいまだ原因不明の難病です。今回、肝移植時に摘出した肝臓の組織内の母親由来細胞について次世代シーケンサー (NGS) を用いて検出し、BA の原因として Maternal microchimerism がどのように影響を及ぼしているか検証したいと考えています。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて 2006 年 12 月～2017 年 6 月までに肝移植術を受けられた患者さんとお母さん
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020 年 3 月
- ③ 研究方法：方法：患者さん、お母さんそれぞれの HLA 型を調査し、患者さんに遺伝しなかったお母さんの HLA 型を特定します。次に、手術時に摘出した患者さんの肝臓の組織内から NGS を用いてお母さん特有の HLA 型を検出して、その数を測定します。BA の患者さんと BA 以外の患者さんでその数値の違いを比較して、お母さん由来の細胞が BA の発症にどのように影響を及ぼしたか検証します。

3. 研究に用いる情報の種類

病歴、検査データ (術前に検査した HLA 型を含む)、移植手術時の年齢、カルテ番号など

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

※ 公表に際しては、研究に用いた情報について個人が特定されないよう十分な配慮を行います。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター、同センター研究所

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

○お問い合わせの場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 病理診断部 東尾 篤史（担当者氏名）

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：2620）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 病理診断部 東尾 篤史（責任者氏名）